



私は、高校卒業後大学進学のため、滋賀に移りました。18年間過ごしたふるさとや親元、苦楽を共にした友人とも離れ、不安な一人暮らしが始まりました。4月に引っ越してすぐ、慣れない大学生活や一人暮らしのため、私は体調を崩しました。薬はもちろん、体温計や氷すらなく、助けてくれる友達もまだいない。動く気力も無く、ひたすら横になるだけでした。幸いにも実家のお米だけが真新しい台所の下に入っていました。インターネットで調べておかゆを作りましたが、これまでに感じたことの無い重労働でした。病気の時、当たり前のように看病してくれていた両親。いつも身近にいて、全ての家事をする母親。自営業で365日、正月でも風邪をひいても働く父親。一人暮らしをして両親の偉大さ、存在を実感しました。また、不安で慣れないことが多い生活の中、心の支えとなったのはふるさとの友人たちでした。話すだけで心が落ち着き、自分らしく素直になれました。さまざまな困難を乗り越り、この場に立っていただけるのも、両親をはじめ、親族、先生方、友人、そして地域の方々のおかげです。今まで支えてくださり、本当にありがとうございました。

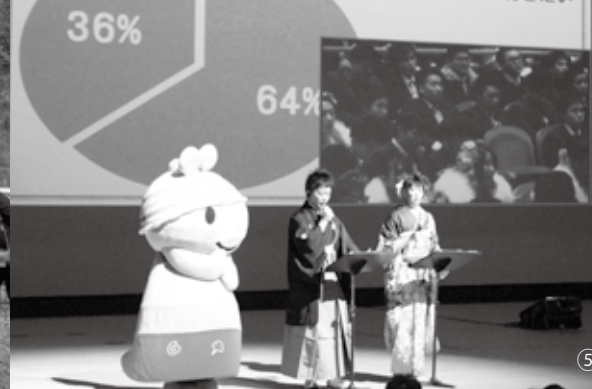
丹波市は雄大な山々に囲まれた、緑豊かな地域です。私たちはその穏やかさに包まれ、日々自らを育み、こうして本日、無事成人式の日を迎えることができました。私には、この丹波の地を離れたからこそわかったことがあります。それはとても星が綺麗だということです。何百万年も前に放った小さな小さな光が見えます。月明かりが照らす畦道、まばゆい星が映る水田。それを見ながら歩いて帰るのが楽しみの一つになりました。また、「あーどここの子か。大きくなったなあ」と声をかけてくれる人たちの温かみ。私にとって丹波の地はいつも温かく迎え入れてくれる、かけがえのない故郷です。いつでも帰って帰ることができるからこそ、それぞれの場で思い切り羽ばたくことができます。

私たちは現在、それぞれの道を夢に向かって歩んでいます。成人として門出を迎えた今、大人として自覚を持ち、責任ある行動で前向きに歩んでいくことを誓います。目標に向かい努力をしている過程で、未熟な面も多く、至らないところもあるかもしれませんが。皆様方には、これからも良き先輩として、ご指導、ご助言いただきますようお願い申し上げます、新成人代表「誓いの言葉」とさせていただきます。

*紙面の都合上、一部割愛させていただきました。



⑨⑩旧友との再会を喜ぶ姿があちらこちらで見られました⑪新成人が Facebook を PR



①仲間たちと晴れ着姿で記念撮影②③にこやかな笑顔で写真撮影をする新成人④紋付き袴姿の新成人⑤⑥成人式実行員会が企画したアトラクションの様子。新成人の今に迫るアンケートの結果を発表し、会場インタビューも行われました⑦中学生時代の懐かしい写真や映像を鑑賞する新成人⑧辻市長から新成人に記念品が贈呈されました

平成 28 年丹波市成人式 新成人おめでとう！

晴れの門出を迎えた新成人 756 人（式出席者 630 人）が、大人の仲間入りを果たしました。新たな決意と自覚を胸に、大人として第一歩を踏み出します。

1月10日（日）に、平成28年丹波市成人式が行われ、華やかな振袖やスーツ、紋付き袴に身を包んだ新成人が、丹波の森公苑で新たな門出を迎えました。新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた友人との会話や写真撮影を楽しむなど、旧交を温めました。

式典において、辻市長は「社会人として活躍されている方、学校で勉学に励まれている方、それぞれに将来への夢を思い描き、希望に満ちておられることと思います。みなさんのこれらの活躍で丹波市を盛り上げていただけることを期待しています」と祝辞を述べました。続いて行われたアトラクシヨ

は、バンドを組んで文化祭に出演したこと」（大西亜季さん）、「将来の夢は先生。今はしっかり学びたい」（川崎良太さん）などと頼もしい答えが返ってきました。

成人式は、終始笑顔に包まれた、温かな雰囲気の中で進められ、それぞれが描く未来に向かって、力強い一歩を踏み出しました。

家族

承るさ

新成人に聞きました！ ～写真 Ver.～

あなたの**想**い 聞かせてください。

晴れの門出を迎え、大人の仲間入りを果たした新成人のみなさん。そんな彼らに、家族・感謝・夢・抱負など新成人の今の想いを聞きました。

誓い



梅田亜澄さん



足立悠太さん



柳本美紀さん

山内歩さん

誓い



感謝



山下康太さん

感謝

家族

抱負

新成人に聞きました！ ～メッセージ Ver.～

18歳の時に丹波を離れ、京都でひとり暮らしをしています。今でも時々家族が恋しくなります。家に帰るとお母さんが美味しいごはんをたくさん作って待っていて、おばあちゃんとおじいちゃんがたくさん話を聞いてくれるので毎回帰るのが楽しみになります。20歳になり大人になったな～と思うことはあまりありませんが、将来は親孝行しつつ、自分に投資できるようなキャリアウーマンになり、そして死ぬまでに世界一周旅行するという夢を必ずかなえたいと思います。 久下麻衣

家族のみんなへのいつも優しく見守ってくれてありがとう。騒がしいくらい元気な家族が私の自慢で、いつも優しく迎えてくれる実家が大好きです。これからも仲良くご飯食べようね。いつもありがとう。 梅谷真子

この20年間本当にいろいろなことがありました。そんな中ずっと支え続けてくれた家族。どんなときも一緒に居てくれて、僕は本当にこの家族でよかったです。ありがとう。これからも人との繋がりを大切に、将来は多くの人を笑顔にできるサービスマンになります！ 西野陽介

今年の抱負は、消防士としての知識および技術力向上です。さまざまな災害現場に出動させてもらっていますが、まだまだ知識不足であると身を持って感じています。そのためにも、しっかり勉強していきたいと思います。 足立昂優

たくさんの思い出には仲間がいました。今は、それぞれ警察官、理学療法士、救急救命士、教師、サラリーマン、看護師をめざしています。みんなで夢をつかみ、いつか立派になって大好きな地元丹波市で恩返しをしたいです。 仲良し6人組

誓い

市では、新成人のみなさんをお祝いしようと、事前にLINEとFacebookを通じてメッセージを募集しました。寄せられたメッセージを紹介します。

私が生まれ育ったこの丹波市への恩返しとして、日頃から消防士として訓練を重ね、災害に備えることで、誰もが安心して暮らしていけるまちにしたいです。そして、これからの丹波市を私たちの手で引っ張っていきたいです。 真鍋 由

20歳になって、社会人としてしっかり歩んでいくとともに子育てもしっかりしていきたいです。笑顔絶やさずこれからも頑張っていきたいです。 服部幸来

承るさ